

名曲を名演奏 弾き語りで綴る極上のエレガントな世界

スタンダード ジャズヴォーカルの“ファーストレディ”

Emerald Night

CAROL WELSMAN (p, vo)

Guest PIERRE COTE (g)



2016年10月28日 (金)

開場 / 18:30~

開演 / 19:00~

料金 / 全席自由 ¥5,000 (1drink付)

場所 / はーばりー 1F みなとホール

主催 / 今治音楽愛好会 後援 / 愛媛新聞社・FM ラヂオバリバリ

問い合わせ / FM ラヂオバリバリ内 TEL.0898-33-0790

「この事業は今治市市民が共におこすまちづくり事業補助金の助成を受けています」

華麗なる弾き語り

スタンダード ジャズヴォーカルの“ファースト レディ”

キャロル・ウェルスマン (Piano・Vocal)

カナダのトロント生まれ。祖父は、トロント・シンフォニー・オーケストラの創設者母は、ピアノの教師、父は、サクソフーンやクラリネットを吹くという音楽一家に育つ。高校時代にクラシック・ピアノ、ダブル・ベース、ヴァイオリンを勉強する。ジャズに興味を持ち、1980年にボストンのバークレー音楽院へ入りピアノを専攻。トロントへ戻りドン・トンプソン、デイヴ・ヤング等と共演するようになり、その後、欧州をツアー。フランス、ギリシャ、スペイン、イタリーを自分のジャズ・ポップ・バンドで廻り、フランス語、イタリア語、スペイン語も堪能な彼女の舞台は、好評を博す。その間、クリスティン・ルグランからヴォイスングを習う。1988年にカナダへ戻り、1994年に初アルバム「ラッキー・トゥ・ビー・ミー」を発表、このアルバムは、JUNO賞 [カナダ版グラミー賞] にノミネートされる。1996年に「インクラインド」、1998年に「スイング・レディズ・スイング」を発表した後、2000年にハービー・ハンコックの紹介でロスアンジェルスへ移り、2001年にジョージ・ベンソンのアルバムで有名なロニー・フォスターのプロデュースで「ホールド・ミー」を発表。2002年には、名門サヴォイと契約「ザ・ランゲージ・オブ・ラヴ」を発表し、同アルバムは、ビルボード・チャートの第5位まで昇るヒットとなる。2004年の富士通ジャズ・エリート・コンサートを皮切りにケン・ペプロウスキー率いるベニー・グッドマン楽団のツアー等で何度も来日して日本でもお馴染みとなる。レコード面では、その後、2008年のケン・ペプロウスキーとの日本盤「メモリーズ・オブ・ユー」は、2009年JAZZ批評誌ジャズオーディオ大賞ボーカル部門金賞受賞ベストセラーとなった。また、彼女が今迄に発表した11枚の中6枚のアルバムがJUNO賞にノミネートされている。

昨年のルイス・ナッシュ (ds) ルーファス・リード (b) ウォーレス・ルーニー (tp 等と初めてNY録音した最新作「Alone Together」は、音楽誌各誌で絶賛され発売記念のライブ・ツアーは、各所で満員の盛況だったという。昨年の東京丸の内「コットン・クラブ」のクリスマス・コンサートも大盛況だった。彼女は、今年10月発売予定の有名なスタンダード・ナンバーをピアノ弾き語りのソロで歌う作品を製作中だ。

ピエール・コテ (Guitar)

カナダ・ケベック州ソレル生まれ。ギタリスト、作曲家、ソングライター。モントリオールでは引く手あまたのスタジオ・ミュージシャン。過去20年にケン・ペプロウスキー率いるザ・ベニー・グッドマン・オーケストラ、イエロー・ジャケッツのジミー・ハスリップ、ディブ・リーブマン、セリヌ・ディオソ等々色々な分野の数多くのミュージシャンとレコーディングやツアーをしている。ジャズ、ブルース、ポップ、カントリー何でも来いというヴァーサタイルなミュージシャンだ。映画音楽の作曲の分野でハリウッドやカナダの映画、TVで活躍している。彼は、最近、初のジャズ・アルバム「Amerika Plads」を発表した。